

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第42号 令和5年7月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp
facebook

小長谷順二 **検索**

日ごとに陽射しも強くなり木陰の恋しい季節となりました。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。令和5年伊豆市議会6月定例会が5月29日に開会し、令和5年度補正予算や条例改正などの議案が上程され、本会議での質疑、委員会審査を経て6月26日の本会議に於いて、すべての議案は原案どおり可決されました。

5月8日から、新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行しました。3年以上にわたり、新型コロナウイルスと戦い、市民の暮らしを最前線で支えてこられた医療従事者や高齢者福祉関係の皆さまを始め、感染拡大の防止に取り組まれてこられた市民の皆さま、事業者の皆さまに心から感謝を申し上げます。これから一年で一番賑わう夏がやってきます。夏祭りや花火大会も開催されます。

皆さまには、コロナ禍前の日常を少しずつ取り戻しながら、それぞれの生活を楽しんでいただきたいと思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)

- 中伊豆温泉病院MRI整備補助金・・・1,500万円
- 新型コロナウイルス接種延長事業・・・1億291万円
- プレミアム付商品券発行事業・・・1億500万円
- 物価高騰による給食食材費の増・・・1,046万円
- 定期人事異動に伴う職員給与等の増・・・789万円
- 会計年度任用職員人件費の増・・・152万円

伊豆市議会議員の請負の状況の公表に関する条例

これまで議員個人と市との請負は認められていませんでしたが、地方自治法の改正により政令で認められる一定金額(300万円)までは議員個人による市との請負が規制の対象から除かれることとなり、議員発議で伊豆市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定を行いました。

広域避難・集会所「小下田ふるさとセンター」完成

旧JA伊豆の国 小下田支店を改修した「小下田ふるさとセンター」が完成しました。小下田多目的集会所は築40年以上が経過し、老朽化していることから新しい施設を望む声が多くあり、市が災害時には市指定の広域避難施設、普段は地域住民の集会所として利用できるように整備しました。

JAふじ伊豆から土地と建物を購入し改修工事を行い、総事業費は7,200万円。備蓄倉庫をはじめ、和室やホールなどを配置し、5月21日に内覧会を開きました。



7月から供用されるこの施設は、地域の交流拠点として、もしもの時には命を守る施設として活用していただきたいと願います。

7月から供用されるこの施設は、地域の交流拠点として、もしもの時には命を守る施設として活用していただきたいと願います。

(株)土肥ノベーション 松原公園指定管理者に決定

市は令和5年4月26日に開催された伊豆市指定管理者審査会での2次審査の結果を、答申書として5月10日に受理し、土肥ノベーションを指定管理候補者として選定しました。審議会から当該施設は、土肥地域の観光面、防災面の中核を担う施設であるため「伊豆市「海と共に生きる」観光防災まちづくり推進計画」を踏まえ、地域住民や関係団体との連携を密にし、地域振興に寄与することを期待する。との意見が付されました。指定管理料は建物を含む公園全体で、年間2,900万円。令和6年4月供用開始予定です。



津波避難複合施設 夜のイメージ

大キャンプファイヤー4年ぶりに集学校で開催!

第12回大キャンプファイヤー「海とこどもと火の祭り」を7月21日(金)18時:00分から開催します。※今回は海岸から土肥集学校に場所を移して行います。

このイベントの目的は、ふるさとの宝であるこどもたちと地域の方たちが一堂に会して、火を囲み、地域とのつながり、ふるさとを愛する心を育むとともに、何より楽しい思い出をプレゼントする事です。土肥こども園、土肥小中一貫校、土肥分校、駿豆学園の利用者が参加し、歌や踊りを披露します。

第12回 Seaside Campfire Gathering
キャンプファイヤー
2023.7.21(金)
18:00-19:30
土肥集学校グラウンド
(18:30開始予定)

17:50 オープニング BGM
18:00 開会宣言・あいさつ
18:10 土肥こども園 披露
18:20 火の囃子
18:25 キャンプファイヤー
18:30 駿豆学園・小中一貫校・土肥分校
18:40 土肥こども園・土肥小中一貫校・土肥分校
19:20 閉会宣言
19:30 終了

(注意事項)
小学生以下は保護者同伴、自己責任でご参加下さい
焼餅バスを利用する学生は帰路を確認しご帰下さい
校舎の必要なのは自己責任でお願い致します
ランナーズ、参加者全員一斉でご参加致します
雨天時は開催用の建物をお待ち下さい
参加者は土肥支所、青年会(土肥支部)にて
お問い合わせ下さい。

主催
土肥地区 PTA
協賛
土肥・小土肥地域づくり協議会
協力
土肥こども園、土肥小中一貫校、
伊豆市伊豆地区土肥分校、駿豆学園
土肥PTA・COE、伊豆市伊豆地区土肥支部
土肥教育委員会、伊豆市第12分団
市 PTA 連絡協議会

小長谷順二の一般質問 (第2回 定例会 令和5年5月31日)

1. どうする自治体DXの推進

Q 令和2年12月、政府において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

DXとはデジタル技術の特性を活用することで考え方や業務プロセスを根本から変えることです。

人口減少社会では職員を募集しても集まらない時代になります。しかし人手不足だからといって公的サービスを止めるわけにはいきません。持続可能な自治体の改革に向けた、デジタル人材の確保及び育成についての現状を伺います。



A 当市におけるDX推進を効果的・効率的に進めるために、昨年度からCIO補佐官を採用し指導・助言をいただき取り組みを進めています。

今年度からは、庁内各課にDX推進リーダーを設置し、情報セキュリティに対する意識や情報リテラシー(情報の適切な活用能力)などの理解と知識の習得を目的とした研修などで人材育成を行っていきます。

各学校の教職員は、情報担当の先生方で構成される情報教育委員会で、DX推進による社会情勢の変化についての講義を計画しており、ICT教育の強化に向けた取り組みを行っていきたく考えています。今年度はICT支援員による支援を手厚くし、教職員の働き方改革につながる取組を進めてまいります。



2. こども家庭庁創設にともなう、子ども・子育て支援の推進

Q 本年4月にこども家庭庁が発足しました。こども家庭庁の理念は、常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組み・政策を我が国社会の真ん中に据えて「こどもまんなか社会」、こどもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しすることです。

国ではこれまで、こどもの貧困対策については内閣府、児童虐待防止は厚労省といったふうに、こどもの政策はいわゆる縦割りになっている現状を、こども家庭庁に一元化し複数の課題を持っているこどもや、子育て世代に対して一体的な支援を行うことが出来るようになります。伊豆市においても「こどもまんなか社会の実現」に向けて率先して実施していただきたいと思い、本市の受け止め方について伺います。



A 厚生労働省の事務次官を務められました村木厚子さんが、その著書で「1994年に文部、厚生、労働、建設の4省が今後10年間の子育て支援のための基本的方策と施策を盛り込んだ「エンゼルプラン」を策定したとき、いよいよ我が国も少子化対策に本格的に取り込むことになる」と期待したが、残念ながらその後の進展はなかった」旨を述べられています。1994年は今から29年前ですから、まさに失われた30年になってしまったわけです。

世界で最も厳しい我が国の少子高齢化問題は原因と結果が一致しているのです。このたび、政府が少子化問題を最重要課題として位置づけ、省庁の横断的な組織を立ち上げ、真に効果のある具体的な政策と施策を展開していただけるよう、心の底から期待しています。



第40回

小長谷順二 市政報告会

令和5年7月19日(水) PM7時～
土肥支所4F集会室

今回の一般質問は自治体DXの推進でした。DXを進めるうえで非常に重要になるのがマイナンバーカードですが、トラブルが相次いでいます。その原因としてポイント事業による性急な普及、マイナンバー制度が急速に広がりを見せている中で人が対応できない、十分なシステム対応ができていないことから事故が相次いでおこりました。これからの時代、デジタル化は必須になりますが、安全第一で進めるべきだと思っています。